



編集顧問

阿部 弘
新井 一
大本 堯史
岡田 芳和
片山 容一
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
佐々木 富男
高安 正和
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
寶金 清博
堀 智勝
宮本 享
吉田 一成
吉田 純
吉峰 俊樹
吉本 高志
若林 俊彦

編集委員

齊藤 延人
(編集委員長)
飯原 弘二
貴島 晴彦
伊達 勲
富永 悌二
前原 健寿
村山 雄一
(五十音順)

令和2年4月、新型コロナウイルス感染症の蔓延に終息の兆しが見えませんが、史上初めての法律に基づく「緊急事態宣言」を発出し、東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、兵庫、福岡の7都府県が対象となり、その後、全国に拡大されました。

新型コロナウイルス感染症の発生初期から、脳神経外科領域のみならず、学会活動は大きな影響を受け、3月に予定されていた学会は、軒並み延期・中止となっています。特に大都市部の公的医療機関では、新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の確保が要請され、脳神経外科の通常診療に大きな影響が出ています。感染症指定医療機関においても、院内感染の発生が報道されており、長期戦の様相を呈しています。

本号の扉では、筑波大学附属病院日立社会連携教育研究センター・日立総合病院の小松洋治先生から、興味深い寄稿を頂きました。氏は若い頃に不整脈を自覚したことで、ホルター心電図を装着しながら、クリッピング術の各局面での脈拍数の変化を知るという経験をされました。氏によると、クリップを破裂脳動脈瘤にかける直前では、脈拍数が平常時の倍以上まで上昇したそうです。

クリッピング術は、私たちの世代にとって「脳神経外科医の華」であり、私も国立循環器病センター（当時）で病棟医長をしていた30代最後の頃は、その「ドキドキ感」を味わいたくて、当直をするのが楽しみでした。

血管内治療全盛の今はどうでしょうか？ 最近、J-ASPECT Studyから、脳卒中センターの診療能力とくも膜下出血のアウトカムとの関係を調べた論文が発表されました（Kurogi R et al. J Neurosurg, Published online Mar 13, 2020）。それによると、脳卒中センターの診療能力はクリッピング術の成績には影響しますが、コイル塞栓術の成績には影響しないという興味深い結果でした。血管内治療全盛時代、今もクリッピング術は、治療を担当する医師にとって自身の総合的な能力が試される「華」なのでしょう。

連載「脳神経外科と数理学」では、中井智也先生・西本伸志先生による「脳活動を基にした知覚体験・行動のデコーディング技術」について、脳活動から刺激パラメータを復元する、最先端の技術を解説されています。テクニカルノートでは、道上怜奈先生らによるバイプレーン血管撮影装置を備えたハイブリッド手術室の初期使用経験が報告されています。バイプレーン装置を導入した施設は稀であり、今後の症例の蓄積と研究の発展を祈りたいと思います。本号ではそれ以外にも、稀で貴重な症例報告を多くご投稿いただきました。多忙な中、玉稿を執筆された皆様に厚く御礼申し上げます。

Neurological Surgery 脳神経外科

(第48巻第5号)

2020年5月10日発行（毎月1回10日発行）

定価：本体2,600円＋税

2020年 年間購読料（送料弊社負担・本体価格）
冊子版／通常 30,600円、冊子版／個人特別割引 29,040円
冊子＋電子版／個人 34,040円
電子版／個人 29,040円

E-mail: noge@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (坂元・前野)

販売・PR部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

オンライン投稿 ID: noge パスワード: noge

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2020, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能性権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ [JCOPY] (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

* 「脳神経外科」[NEUROLOGICAL SURGERY]は、(株)医学書院の登録商標です。